東洋史籍講読4B－Ⅰ

科目ナンバリング　HAA-217
選択必修　　2単位

澁谷　由里

1. 授業の概要（ねらい）

「中国社会のウラ・オモテ」
どのような社会も、制度や決まりごとなしでは運用できない反面、それらの「ウラ」で展開している実像を知らなければ、その社会を理解したことにはなりません。この授業では現在の中国社会の「ウラ・オモテ」が形成された歴史的経緯や理由を考えることから出発し、履修者各自が研究課題を発見できるような、試行錯誤の場を提供したいと思います。

2. 授業の到達目標

1,中国社会の諸問題を具体的に理解し、その歴史的経緯や理由を調べ、考えられるようになる。
2,歴史学および関連諸学の研究成果を学び、その研究手法や資料収集方法などを、自分の研究に活用できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

テキスト指定箇所についての口頭報告、および自主的研究に基づく報告（あわせて60%）
ほかの報告者に対する質問、意見（40%）

4. 教科書・参考文献

教科書
安田峰俊　『現代中国の秘密結社　マフィア、政党、カルトの興亡史』　中公新書ラクレ

5. 準備学修の内容

文献の調べ方やレジュメの書き方については、授業の初期段階で教えますので、まずはその基本通りにやってみてください。履修者全員の一巡目の報告が終わったら、独自のテーマ設定で報告するか、担当部分を応用した内容での報告をしてもらいます。ほかの履修者の報告や教員の意見も参考にして、失敗をおそれず試行錯誤をしてみてください。

6. その他履修上の注意事項

各自の担当は、責任をもってまっとうしてください。理由なく5回以上休んだり、報告を放棄した場合には、単位を認定できません。なお4年生は、就職活動とのかねあいで報告順を決めますので、活動日程のおおよその目安を初回に教えてください。

7. 授業内容

【第1回】　教員および履修者の自己紹介、およびガイダンス（対面授業）
【第2回】　履修者各自の初回報告テーマの提案、分担案、報告順の提示（4月23日、LMS配信）
【第3回】　テーマと分担、報告順の確認（LMS画面が出せるようにしておくこと。プリントアウト持参でも可）
口頭報告の方法、レジュメの作成法について（教員による講義）※いずれも対面授業
【第4回】　工具書の探し方、使い方（MELICでの実習）（対面授業）
※ただしコロナ蔓延の状況によってはLMS配信などに切り替えます
【第5回】　指定箇所についての学生の口頭報告（1）（対面授業）
※1回につきおおよそ5,6人に報告してもらいます（以下同じ）
【第6回】　指定箇所についての学生の口頭報告（2）（対面授業）
【第7回】　指定箇所についての学生の口頭報告（3）（対面授業）
【第8回】　指定箇所についての学生の口頭報告（4）（対面授業）
【第9回】　自主的研究に基づく学生の口頭報告（1）（対面授業）
※この段階では1回あたりの人数を3,4人とします（以下同じ）
【第10回】　自主的研究に基づく学生の口頭報告（2）（対面授業）
【第11回】　自主的研究に基づく学生の口頭報告（3）（対面授業）
【第12回】　自主的研究に基づく学生の口頭報告（4）（対面授業）
【第13回】　自主的研究に基づく学生の口頭報告（5）（対面授業）
【第14回】　自主的研究に基づく学生の口頭報告（6）（対面授業）
【第15回】　報告予備日
やむを得ず報告担当回を欠席した学生の報告を優先しますが、各自の振り返りや後期の目標設定を発表してもらい、夏休み中のレポート課題を提示しますので、必ず出席してください。